

## 知事と区市町村長との意見交換会（墨田区）

令和2年10月28日（水）  
15時40分～16時00分

○**行政部長** それでは、意見交換を始めさせていただきます。初めに、知事からお願いいたします。

○**知事** まずは、こうやって対面というのも、まだ何か新鮮な感じもしたりして。今日はわざわざお越しくございました。また、コロナとの闘い、保健所の皆さんも大変ご苦労されていることかと思えます。また、ウィズコロナ時代をどう描いていくのかが大きな課題でございますし、また、都において、様々な構造改革などもしております。それを梃子にしまして新しい日常、サステナブル・リカバリー、これをベースにしながら長期戦略を策定という、そういう過程でございます。

今日は、墨田区長自らの現場のご報告や、またご意見、ご要望をいただければと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○**行政部長** それでは、山本区長、ご発言をお願いいたします。

○**墨田区長** 貴重なお時間を大変ありがとうございます。また、意見交換のこのお時間をつくっていただくということで、今日は3点ほど私ども用意をして、お話をさせていただきたいと思えます。

今、ウィズコロナ、ポストコロナということで、観光施策、この立て直しというのが1点目でございます。東京スカイツリーが開業して8年経過をしました。開業当初のにぎわいが大分落ち着いてきた。そこに新型コロナの影響があるということで、当区の観光を取り巻く環境というのは大変厳しい方向で変わっているのかなというふうに思っています。

そこで、区では、多種多様な企業の集積を生かし、観光協会とともに体験型の企業見学ツアー、こうしたものを企画しているところです。そこで、この大規模なMICE、こういう施設を持たない、私ども墨田区ですが、東京都で誘致を行っているMICE関連事業に参画をさせていただいて、MICEへの出店の機会の提供であったり、開催事業者への本区の取り組むツアーの紹介など、こんなことをご協力・連携いただけたらありがたいなというふうに思っています。

また、新たな観光スポットとして、これは浅草と東京スカイツリーを結ぶ北十間川周辺エリアということで、ミズマチという呼び名もありますし、これを東京都様にもご協力をいただいて、そして区、鉄道事業者、これら官民連携して隅田公園と北十間川のテラス、そしてコミュニティ道路、鉄道高架下施設ということを整備したことによって新たなにぎわいをつくり出す、東東京地域の魅力的なエリアに生まれ変わったというふうに思っております。

さらに、このスカイツリー周辺では、東武伊勢崎線連続立体交差事業の整備、これも大分進んでおりまして、新たにそこに生まれる高架下空間や駅前の広場、道路をはじめ、駅

北側エリアについてもこのまちづくり、北側エリアまちづくりを進めています。周辺の回遊性向上には、実はそこ、イースト、ウエストがあるんですが、この三ツ目通りというのも今、横断歩道がなくて、多くのお客様、お見えいただくのですが、ちょっと迂回をしていただいているような状況でございまして、ぜひそうした横断であったり駅前一等地にある老朽化した都営住宅、これがございまして、そういうものも今後どうしていくのかと、魅力的なまちづくりに向けて、さらなる都との連携をお願い申し上げたいというのが1点目です。

2点目、錦糸町地域の魅力向上と産業振興施策、ここを都と連携させていただければなどということをお願いしたいと思います。錦糸町の地域は、国内外への交通アクセス、大変よくなってまいりまして、飲食店や宿泊施設等が集積する商業地として、ビジネス、観光の面で高いポテンシャルを発揮できる地域です。現在、産業振興を通したまちづくりに寄与する施設として活用するために、墨田区でも企業誘致、こうしたものも進めるなど、錦糸町地域の魅力をさらに高めていきたいと、こういうふうに頑張っているところです。

こうした中で、地下鉄8号線の延伸。これが区民の交通の利便性や来街者の増加だけではなくて、この錦糸町から東東京全域へ産業振興の効果を波及させていくというようなことも期待できるということで、早期の延伸の実現をお願い申し上げたいということ。

そして、本区では、区内ものづくり企業の集積を図る中で、特に東墨田地域というところがございます。そこに社会課題の解決を取り組む企業の誘致であったり、その支援のためのスキームづくり。スモールビジネスの創出などを今、予定をしております。こうした施策の実施に当たって、錦糸町地域や東墨田地域、白鬚東地区を事業推進のコアの部分と位置づけておりまして、公有地、施設等の有効活用などによって拠点を整備していきたいというふうに考えています。東京都には、東墨田地域の都有地を皮革産業をはじめとする地域産業の活性化に活用することや白鬚東共同利用工場及び都営白鬚東アパート内の空き店舗、こうしたものを社会課題解決型企業の誘致であったり支援、そしてスモールビジネス創出の場として提供いただくというようなことによって、この連携をお願い申し上げたいということなのです。

3点目、東武鉄道鐘ヶ淵駅周辺の連続立体交差化の早期着手と墨田五丁目都市整備用地の活用でございまして。東武鉄道鐘ヶ淵駅周辺については、東京都で補助120号線の拡幅事業を鋭意進めていただいております。地元の期待も高まっているということです。一方で、この道路と交差する踏切の解消については、いまだなかなか進展してかないという状況でございます。踏切事故防止の観点から、そして、災害時の避難に際しても踏切の存在が障害となるということで、防災まちづくりの面においても課題であるということで、ぜひこの連続立体交差化の早期着手を要望したいということです。

当該地区は、東京都の踏切対策基本方針、平成16年ですが、重点的に対策を講じるべき重点踏切に抽出をされておまして、鉄道立体化の検討対象区間に掲げられているということで、地域からもいつになったらこの踏切の解消着手なるのかということで、多くご意見をいただいているところでもございます。区の実情を踏まえて、これまで以上に都区の

連携を深めていくとともに、連続立体交差化の実現に向けて、早期にこの事業候補区間に上げていただくようお願いをするものです。

そしてもう一つ、墨田五丁目都市整備用地について、特別支援学校の整備に合わせて周辺主要生活道路整備や、防災まちづくり・地域の魅力向上ゾーンについては、防災まちづくり用地を確保した上で、地域の魅力向上や生活利便性向上に資するような活用を図るようお願いをしたいということでございまして、あの周辺の所有地の有効活用、こうしたものも含めて、このまちづくりにまたお力添えをいただけたらなということでお願いするものでございます。

以上、観光、そして錦糸町地域、それから産業振興策、そして東武鉄道鐘ヶ淵周辺ということで3点まとめさせていただいて、地元の課題でございまして、今日は知事にご意見を申し上げさせていただきに参りました。どうぞよろしく願いいたします。

○行政部長 どうもありがとうございました。それでは、知事からお願いいたします。

○知事 この後、多羅尾副知事の方からもお伝えしたいと思いますですが、私の方からは、まず、地下鉄関係とか東武伊勢崎線関係などについて触れたいと思います。

まず、地下鉄8号線ですけれども、東西線は混雑が非常に激しいということで、数字も上げられているところでありまして、よって、この混雑の緩和ということはもとより、臨海地域と錦糸町地域とを結ぶアクセスの利便性という点でも重要な路線というふうに考えております。目下、事業主体、そして費用の負担の在り方など課題がございまして、関係者との調整を行っているところであります。関係者との協議、調整を加速して、この路線の実現に向けてしっかり取り組んでいきたいと考えているというのがまず1点。

それからもう一つ、私の方から、東武の伊勢崎線の鐘ヶ淵駅付近のお話がございました。都が作成した、今、区長もお話ありましたように、踏切対策基本方針で、鉄道立体化の検討対象区間の一つに位置付けられているわけでありまして。道路と鉄道の立体化をすることによって交通の渋滞を緩和したり、また踏切事故の解消をするということからも、鉄道で分断された市街地の一体性も高められるなど、幾つかのポイントとして、地域のまちづくりと併せて進めていく必要があると考えております。都として、区によるまちづくりの検討が促進されるように、積極的に支援をしていくというのが1点。

次に、墨田五丁目の都市整備用地の話でありますけれども、防災まちづくりのために、有効に活用することも重要でございます。今後、鐘ヶ淵地区の防災まちづくりの一層の推進、そして墨田区の北部地域における魅力向上というこれらの点から、平成30年3月に土地利用の考え方についてお示しをしておりしております。これらに基づいて、それぞれのゾーンでの取組を進めていくということです。

それから、旧忍岡高校跡地でございますけれども、こちらについては、区の具体的な提案を参考にしながら、大規模救出救助活動拠点として位置付けられているということもございまして、適切に対応していくという考えでございます。

多羅尾副知事から加えさせていただきます。

○副知事 お話のように、アフターコロナにおける観光振興策というのは大変重要と思っ

ております。特にキーワードは、お話のとおり MICE 誘致ということになるかと思えます。墨田区さんには、スカイツリーはいうまでもなく、すみだ北斎美術館など、国際会議等、MICE の参加者にも人気のある魅力的な施設が数多くあると存じております。このような施設を都では東京のユニークベニューとして広く PR し、MICE の誘致力の強化を図っているところでございます。高い経済波及効果が見込める MICE の開催は、非常に今後重要と考えておりまして、墨田区さんと一緒に MICE 誘致を進めてまいりたいというふうに思っております。

それから、三ツ目通り、いわゆる遊歩道に係る信号設置でございますけど、これは警視庁さんとともに、かなり具体的な検討を重ねているところでございます。なかなか正直困難なところがございますが、引き続きいい解決方法が見いだせるよう、一緒に検討させていただきたいと思っております。

それから、スカイツリーに近接する都営住宅、具体的には押上二丁目アパートのことだと思いますが、現在、耐震改修の実施に向けて、店舗権利者と調整している住棟もございまして、当面すぐに建て替えるという予定はございませんけれども、建替計画の検討に際しては、非常にポテンシャルの高いエリアでございますので、墨田区さんとも十分協議を行いながら取り組んでまいりたいと思っております。

それから、産業関係でございますけれども、伝統産業でございます皮革関連を含めた地域産業を活性化しまして中小企業の更なる振興を図っていくためには、都と区の連携が非常に重要と考えております。

まず、お話のございました白鬚東共同利用工場につきましては、江東防災再開発事業において、計画区域内に所在された事業者の方々の移転の受け皿となっております。現在、空き区画の短期貸付では地域の実情に応じた、少し目的が広がっておりますけど、様々な事業者が入居されていると聞いております。今後も意欲ある事業者に利用していただけるよう、引き続き空き区画の有効活用を行ってまいりまして、お話のようなスモールビジネスの活性化などにも資するものにしてまいりたいと思っております。

また、都営白鬚東アパートの併用店舗のうち、なかなか空き店舗が多くなっているという実情でございますけども、国に対しまして、まず用途廃止の手続を行うことによりまして、区さんの方にも使用許可ができると思っております。建設の辺り、かなり国費が入っているものですから、国の許可が必要ということでございます。この件につきましては、区さんの方とも実務的な意見交換も始めさせていただいておりますので、できるだけ区のお考えが反映できるよう、可能な限り協力してまいりたいと思っております。

また、事業の広域展開については、イノベーションというものを社会に実装し、地域に還元するため、東京コンソーシアムにおける区との連携を密にいたしまして、ともにエコシステムなどを活性化させてまいりたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

○行政部長 それでは、山本区長、今のお話を受けていかがでしょうか。

○墨田区長 この私ども3点、細かくいろんな今、お話もいただけたということで、大変

感謝を申し上げたいというふうに思いますし、一つ一つ着実に進めていけるように、これからもよろしくお願いをしたいと思います。

今日は午前中、両国のゲートホテル開業でございまして、東京都と一緒にスーパー堤防化をさせていただいて、船着場もしっかり造って、いよいよ来月から本格稼働というような開業式典も今日行われました。

それから、文化芸術面、北斎美術館のお話もいただきましたが、ここも中心にしながら、この間、向島 EXPO2020 ということで知事にお運びをいただいて、ああいう下町の文化の良さとか、こういうものも、マイクロツーリズムじゃないですけども、ぜひ味わっていただいて、魅力的なこの下町墨田を少し PR もしていきたいというふうに思っております。いずれにしても、都との連携があってこそということの中で、ぜひ今後ともよろしくお願いいいたします。

**○行政部長** どうもありがとうございます。それでは、最後に、知事からお願いいたします。

**○知事** 今、ここ地図を見せていただいて、Garage Sumida にも伺いましたしね、もう本当に、やはり、やる気のあるリーダーを中心にして、あそこの EXPO もそうですけど、やはりリーダーの存在いかんで発展するところ、それとみんながその気になるところ、それぞれだと思いますから、ぜひこれからもリーダーもあちこち育てて、そして、ぜひこのまちも元気になるようにしていただいて、都もしっかり連携させていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

**○行政部長** それでは、以上で終了いたします。本日はどうもありがとうございました。